

Hal Halle

Hal=晴 Halle=間 / 空の光がつくる生活空間 / エネルギーと生活の場の共有

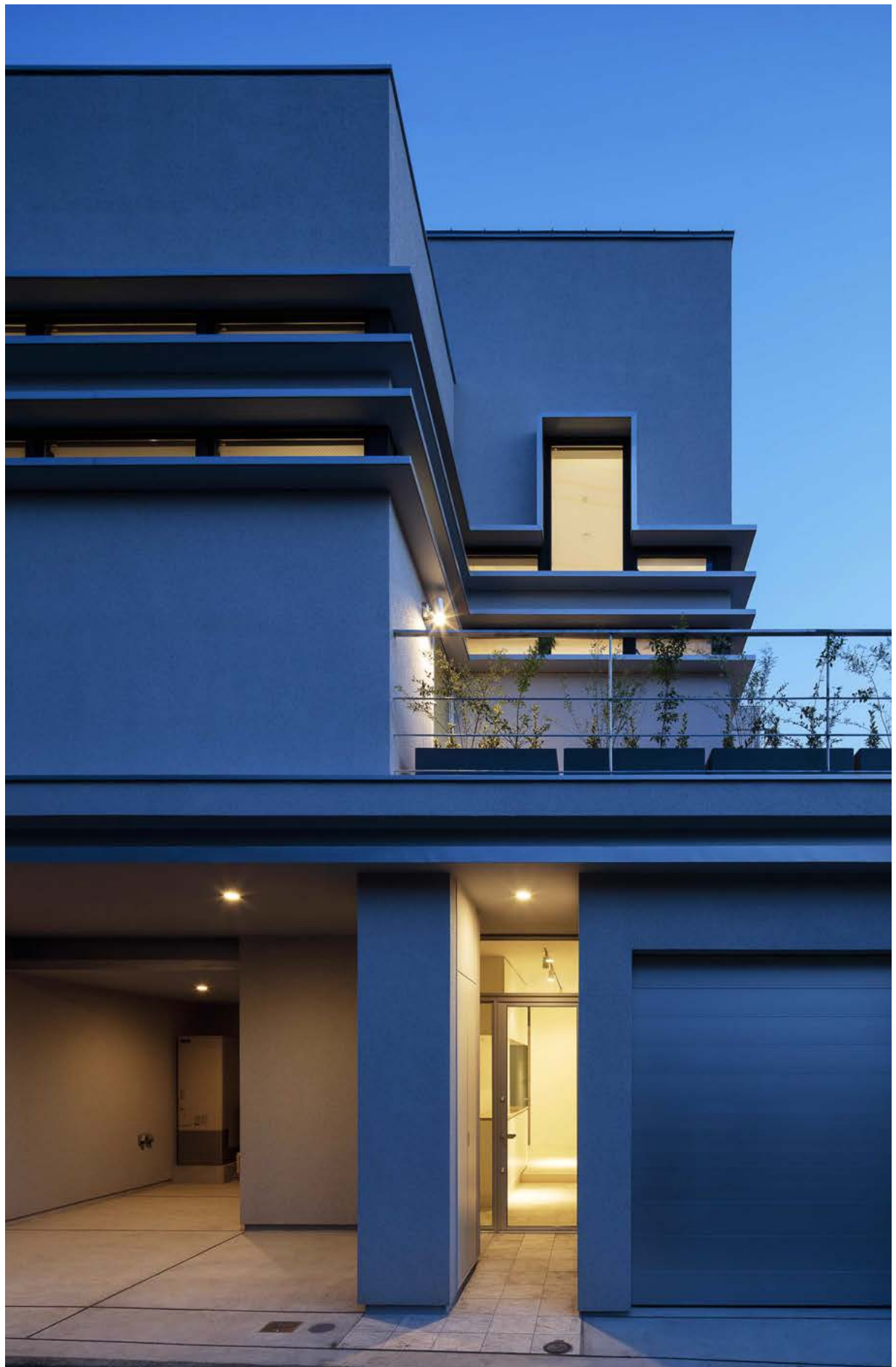
主要用途 : 賃貸併用住宅
構造 : 木造在来工法
階数 : 地上3階
建築面積 : 165.85㎡
延床面積 : 363.05㎡

● GOOD DESIGN AWARDS 2017

● 『A-Collection』(025号)掲載



©河野有悟建築計画室



空の光がつくる持続可能なエネルギーと生活の場

住宅密集地にたつ木造3階建ての共同住宅。自給自足可能なエネルギーシステム（OFF GRID）と空の光がつくる生活空間の構築。各住戸の住み手が、エネルギーと生活の場を共有し、コミュニティを形成する。オーナー居住スペースを1階に、賃貸住宅を2階から3階に配している。平面的に3つのボリュームが交差するゾーンを2つのコアとして、そこに構造と生活のサポート機能を集約した。コアが水平力をすべて負担することで、住空間の外周全てにひとつながりの横連窓を展開することが可能となり、開放性と、全方位からの採光を獲得できた。横連窓の上下に設けた4連のリブが、日射と外部からの視線をコントロールする。

都市の建築は街路に接する1階と、上階の用途が異なる事が多く、その上下階ボリュームのギャップを活用し、コミュニティ形成の機会を育む広い共用外部空間を獲得した。人と陽の"ちから"を集めるHal = 晴、Halle = 間は未来の生活を豊かにする選択肢のひとつを示そうとしているプロジェクト

